

## 第20回渋沢栄一賞受賞者について

(五十音順)

### ◇伊藤 雅俊 (いとう まさとし) 氏 (97歳)

株式会社セブン&アイ・ホールディングス (東京都千代田区)  
名誉会長

※会社概要 純粋持株会社 1920年創業 (羊華堂: ヨーカ堂の前身)  
従業員数58,975人 (連結、2021年2月28日現在)



#### <受賞理由>

(優れた経営)

- ・ 戦後、売り場面積2坪の洋品店から経営者としてのキャリアをスタート、1958年にヨーカ堂(現イトーヨーカ堂)を設立し、レギュラーチェーン店展開を開始
- ・ 1974年にセブン-イレブン及びデニーズの日本1号店を開店
- ・ 高度経済成長とともに、総合スーパー、コンビニエンスストア等を有する巨大小売業グループに成長させ、日本経済の発展に大きく貢献

(社会への貢献)

- ・ 経済的理由により苦学を強いられている若者の支援を目的に1994年(公財)伊藤謝恩育英財団を設立、2021年までに大学生を中心とする約1,100名に奨学金等を支給

### ◇大山 健太郎 (おおやま けんたろう) 氏 (76歳)

アイリスオーヤマ株式会社 (宮城県仙台市) 代表取締役会長

※会社概要 生活用品企画・製造・販売  
1958年創業 従業員数15,550人 (2022年1月時点)



#### <受賞理由>

(優れた経営)

- ・ 19歳で家業を継承し、地方から世界で事業展開するグローバル企業に成長
- ・ 東日本大震災の被災地を代表する企業として、日本の抱えている課題に商品・サービスを通じて解決策を提供する「ジャパン・ソリューション事業」を実施
- ・ 生活者の日常の不足・不満を解消するユーザーイン発想の商品開発で年間1,000アイテムを発売

(社会への貢献)

- ・ 被災した地域・人々へ、支援物資の提供や義援金の寄附等を実施
- ・ 東日本大震災の被災地の復興のために宮城県亘理町に精米工場、福島県南相馬市に資材製造工場を設立し、雇用創出

---

---

◇鈴木 修 (すずき おさむ) 氏 (92歳)

スズキ株式会社 (静岡県浜松市) 相談役

※会社概要 四輪車・二輪車・マリン製品などの製造・販売  
1920年設立 従業員数 68,239人 (連結)



<受賞理由>

(優れた経営)

- ・ インドやハンガリーなど海外への積極的な進出により、社長継承時から売上高を約10倍に成長
- ・ 社長就任翌年に発売したアルトを主導し、現在に至るまで一貫して軽自動車の普及・発展に尽力

(社会への貢献)

- ・ 1980年に(公財)スズキ財団を設立、機械工業発展のため若い研究者などへ援助、助成件数1,855件、助成総額約22億5,000万円
- ・ 2000年に(公財)スズキ教育文化財団を設立、静岡県下の高校生・大学生へ奨学事業、支援総額約5億1,500万円
- ・ 2018年に私財を投じて(公財)鈴木道雄記念財団を設立、障害者・高齢者福祉向上などへ助成、助成総額約5,000万円